

学内のSDGs活動模索 団体が発足



広島工業大



「HIT SDGs Action Members」のメンバー



大学院2年

手島慶祐

広島工業大（広島市佐伯区）に、持続可能な社会に向けて活動する団体「HIT SDGs Action Members」が発足した。学生たちが学年や学科の枠を超えてアイデアを出し合い、自分たちにできるSDGs（持続可能な開発目標）関連の活動を模索していく。

メンバーは1〜3年の9人。昨年11月にあった工大祭ではフリーマーケットを2日間開催した。DVDや衣類など75品を販売し、売り上げを日本赤十字社に全額寄付した。今後は学内にボックスを設置してペットボトルのふたを回収し、発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る支援をする。また学内の電力の消費状況を調査し、電力使用量削減を目指す活動も計画している。

代表を務める情報コミュニケーション学科3年の毛利仁駿あきとしさん（21）は「大学の環境を最大限生かして学内のSDGs活動を進め、メンバーが考案した企画を実現したい」と話していた。